令和７年10月１日
サンリッチ伊東

ヒヤリハット及び介護事故報告について

サンリッチ伊東では、介護事故予防及び介護事故再発防止のために、各部署のスタッフからヒヤリとした介護内容及び介護事故につながってしまったことなどを迅速に報告させています。そして、これらの報告書を各スタッフが共有し、介護事故防止に役立てております。今回は、令和６年10月１日から令和７年９月30日の間において報告されたヒヤリハットの内容(4件)及び介護事故の内容(4件)の一部を開示させていただきます。なお、報告件数は合計８件ありました。

◆ヒヤリハット報告	◇介護事故
[令和６年12月14日] 内容 → 普段の移動は車イスで支援している入居者様が、買物代行の申し込みをする為にフロントへ１人で歩いて来ました。本来は車イスやシルバーカー等を使用した方がよかったです。 対策 → 移動する時には緊急コールで職員を呼んでいただくようお願いしました。また、買物代行の内容については現場で聞き取りをしているので、そのことをメモにして本人に渡すことになりました。 [令和７年１月18日] 内容 → 歩行器を使用して移動している入居者様が夕食終了後居室へ戻るために誘導しようとしたところ、車イスと勘違いされ歩行器を背にして座ろうとしたので直ぐにお声掛けをして何とか転倒を回避することができました。 対策 → 歩行器を席から離しておき、居室へ戻る時に職員が席まで歩行器を用意することにしました。その後は転倒なくレストランを利用していますので今後もこの対応を継続していくことになりました。 [令和７年８月12日] 内容 → 入居者様が朝食時にレストランでゆっくりと転倒し右側臥位の体制で倒れました。転倒した際に、靴の踵を踏んで履いておりつまづいたと考えられます。 対策 → 踵が踏めない靴を購入し様子観察しており、しっかりと靴を履いて移動する事ができています。	[令和６年10月16日] 内容 → 水分補給の為訪室すると、クローゼット横付近で転倒している状態で発見しました。状況を確認したところ、上着を脱ぎベッドに置こうと車椅子から立ち上がろうとした際に転んだと事で、緊急受診し骨折の診断でした。 対策 → 筋力低下が進行する事が予測される為、退院後の身体状況に応じてリハビリなどを検討し、家具の配置等の見直しを本人とおこないました。又、手すり設置も検討して安全に移動ができるようにする事になりました。 [令和７年４月16日] 内容 → 買物便に参加されていた入居者様が、送迎車から降りて店内へ向かう途中、駐車場の車止めに躓き転倒しました。外傷等は見られず歩行可能でしたが、帰館後、痛みの訴えがあり係りつけ医の救急外来に受診となり検査の結果、座骨骨折の診断で保存加療となりました。医師からは痛みの様子を見ながら通常の生活をしても良いとの説明がありました。 対策 → 駐車場の車止めには注意が必要なので、付き添い職員が声掛けをしたり降車位置を変更したりしていくことになりました。又、状況に応じて入店するまでは付き添いをしていくことになりました。 [令和７年５月７日] 内容 →入浴介助の為、居室へお迎えに行きました。居室の椅子に座られており車椅子へ移乗し温泉大浴場へ移動支援をおこないました。脱衣所にて衣類を脱がせる際に、左脇腹、左手首、左鼠頸部の痛みの訴えがあった為、看護職員により確認し左大腿部が腫張している事を発見したので緊急受診し左大腿骨骨折の診断でした。 対策 → 一人で移動をする事も考えられる為、排泄や食事などの為の移動時には緊急コールにより職員を呼んでいただくことをお伝えしました。又、ｾﾝｻｰﾏｯﾄ等の活用もご本人様とご家族様と検討し、活用する事になりました。